

令和 7 年 7 月 22 日

国土交通省関東地方整備局

利根川ダム統合管理事務所

今しか見られない！相俣ダム堰堤改良工事の現場見学会を開催

～メディアのみなさまを対象に参加者を募集します～

利根川ダム統合管理事務所では、現在、群馬県みなかみ町に位置する相俣ダムにおいて新たに放流設備を設置する堰堤改良工事を行なっております。

今回、メディアのみなさまに、今しか見ることができないダム本体の掘削などを見学して頂き、現場の魅力を情報発信していただきたいと考えています。

日 時：令和 7 年 8 月 28 日（木） 13：30～15：30

場 所：相俣ダム（工事現場内）

集合場所：相俣ダム管理支所（別途図面の箇所）

集合時間：令和 7 年 8 月 28 日（木） 13：20

概 要：別紙 1 のとおり

対 象：メディア

申込方法：別紙 2 のとおり

申込期限：令和 7 年 8 月 15 日（金） 17：00

留意事項：台風等による荒天の場合は中止とさせていただく場合があります。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 刀水記者クラブ・テレビ記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 利根川ダム統合管理事務所

電話：027-251-2021（代表）

E-mail：ktr-tonegawadam@mlit.go.jp

副所長（技） 守谷（もりや）

（内線：204）

地域連携課 保全対策官 田子（たご）

（内線：307）

相俣ダム堰堤改良事業 現場見学を開催

別紙1

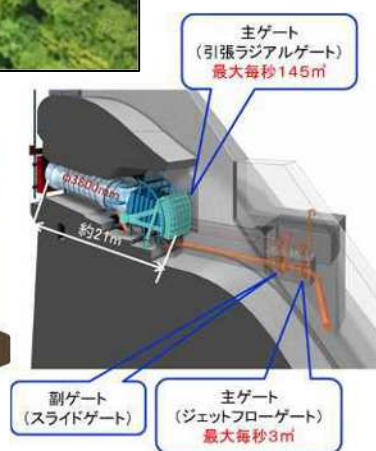
相俣ダムとは！

昭和34年に完成した、重力式コンクリートダムです。

洪水調節、かんがい用水の補給、発電を目的とした多目的ダムです。

堰堤改良事業の“今”をご紹介します！

新たな放流設備を設置することにより、事前放流による治水機能の増強や、弾力的運用による利水活用など、既設ダムの有効利用などを目的に事業を進めています。



※マルチアングル工法とは、今まで単管+クランプで手間と時間をかけて製作していた構台足場を、より簡単で安全に施工・盛替えできるようなした工法です。狭隘な現場でもハンマー1本で組み立て・解体が可能で、各部材は最小限の大きさで、人手による運搬が可能となっています。

相俣ダム堰堤改良事業 事業の効果

1. 治水機能の増強（治水安全度が大幅に向上！）

①放流能力の向上

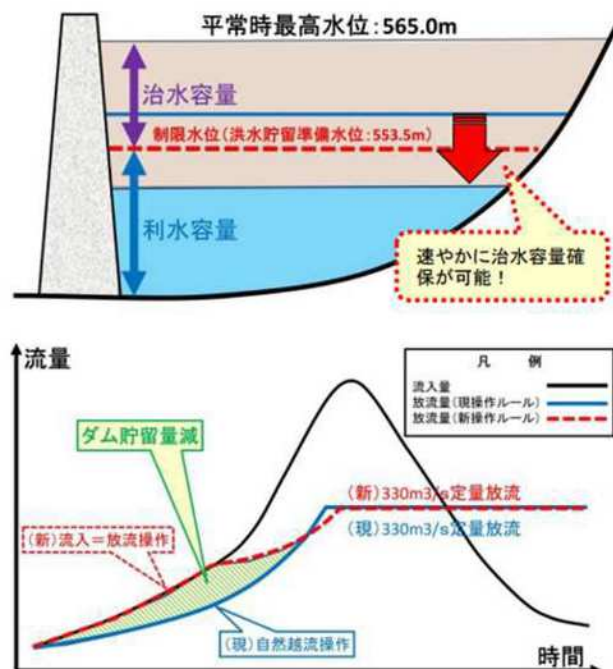
現行設備と比較し、洪水貯留準備水位時において、最大毎秒145m³放流能力が向上します。

②事前放流が可能

放流能力向上に伴い、出水前に速やかにダムの水位低下が可能となります。

③洪水初期の放流能力が改善

流入＝放流操作が可能となることから、洪水初期におけるダムへの貯留量を減らせることで、限られた容量を有効に活用し、より効果を発揮出来るようになります。



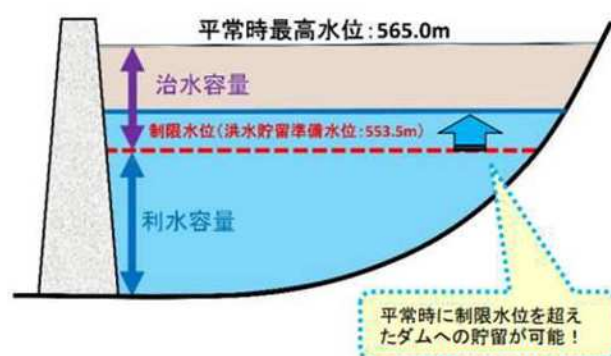
2. 利水機能の向上（弾力的運用が可能に！）

①ダム補給能力の向上

現行設備では困難であった Crest ゲート敷高（E L. 553.0m）以下の補給において、発電最大放流量毎秒10m³を超える補給が可能となります。

②弾力的管理運用が可能

洪水が予想される場合、速やかな水位低下（空容量の確保）が可能となることから、平常時に洪水調節容量を活用することで利水機能が向上します。



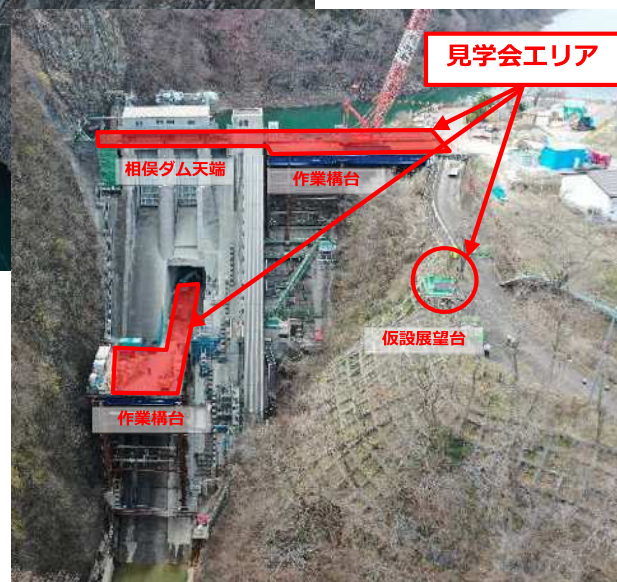
集合場所・駐車場位置図



見学会エリア



※当日の状況により見学エリアが変更となる場合があります。



事前申し込みについて

お申し込みは電子メールでお願いします。

メールの件名は、「相俣ダム現場見学会申込」とし、下記メールアドレスに必要事項を記載の上、お申し込み願います。

■ 申込み：ktr-tonegawadam@mlit.go.jp

■ 申込み期限：令和 7 年 8 月 1 5 日（金） 1 7 時まで

【必要事項】

1. 報道機関名：_____

2. 参加者名：_____

3. 連絡先：_____

4. 車台数：_____

※狭小な現場のため、参加人数を制限させていただく場合があります。

※荒天時の中止の連絡は、前日に記載の連絡先に連絡いたします。

※注意事項

以下について確認・遵守頂きますようご協力をお願い致します。

- ・事故防止の観点から、見学会エリアを設定させていただきます。
- ・駐車場の台数に限りがありますので、駐車時は職員の指示に従って下さい。
- ・足下が悪い場合もありますので、動きやすい服装でご参加ください。

（ヘルメットは当方で準備いたします。）

- ・現場へのカメラの持ち込みは階段昇降があるため両手が自由になるもの